

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイダージュニアさいたま中央教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年2月20日		～ 2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	206年2月20日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	毎日のミーティングを通して、お子様たちのご様子を職員間で共有を行い、子どもたちにとって必要な活動を毎日組み立てて支援しております。また、その際のお子様の様子などもしっかりと共有しあうことで療育内容を固定化せず、お子様たちに合わせて支援を行うことが出来ております。	今後も研修などを通して、職員一同支援のスキルアップを図ってまいります。また1人1人のアセスメント会議を定期的に行いより良い支援へとつなげていきます。
2	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	モニタリング面談以外にも、ご希望があったり、必要性があれば保護者様にお時間を作っていただくことが出来ており、お子様のご様子を共有する体制を整えられるよう配慮しています。	送迎時の引継ぎ時間をもう少し多くとれるよう、検討工夫していきます。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	連絡帳や送迎時の引継ぎ時間でお子様のご様子の共有ができるように配慮しています。また、伝えきれなかったことやお子様に聞かれないことなどは時間を改めてお電話で伝えるようにしています。	保護者様の気持ちや不安に寄り添い、より専門的にご対応できるよう努めてまいります
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	畑作業の際、地域住民の方との挨拶や近隣学童のお子様との関りはあるが保護者様に周知出来ていなかったほかのお子様との関り自体は少ないため今後検討していきたい	近隣の方との関りなどは感染症対策をしっかりと取り組んだうえで増やしていけるよう検討していきます。

2	<p>保護者会等の開催や、父母の会の活動の支援等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	<p>感染症対策や教室の大きさにより、ご案内できる人数が限られてしまうため別の会場を借りるなど、出来る工夫はしています。</p>	<p>今後も感染症対策を行いながら、ご家族を対象としたイベントを行い周知していきます。</p>
3	<p>生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。</p>	<p>運動マットの浮きや剥がれのご指摘があった。環境整備への配慮に細心の注意を払っていく。</p>	<p>マットの張替えや、修繕を行っています。</p>